

# 教育民生常任委員会

3月9日・10日・14日の3日間、  
陳情2件の審査と所管の事務調査  
及び現地調査を行いました。

## 現地調査

新年度からごみの搬入予定がある米子市クリーンセンターと、資源ごみなどを搬入しているリサイクルプラザの現地調査を行った。  
また、日本最大級の古代遺跡である「むきばんだ遺跡」の新しい施設などを視察した。



むきばんだ遺跡を視察

## 地域の保健 福祉活動を充実 福祉介護課

**新**

年度の新規事業として「小地域保健福祉活動支援事業補助金（111万6000円）」が予算計上されている。

この事業は、集落の保健

## 福祉介護課

推進員と社会福祉協議会の福祉推進員の協力を深め、集落の実情にあった健康づくり活動や、地域の支え合い活動などの充実を目的とし、新たに創設される。

## 大山診療所で 介護サービス

## 保健課

**大**

山診療所の2階部分を、5月から大山やすらぎの里が、特別養護老人ホームとして活用する。

1階部分は、引き続き診療所として運営し、固定医の確保と赤字経営の解消をめざす。

## 医療費で 1億円増額

## 住民生活課

**国**

民健康保険特別会計予算は、医療費が大幅に伸びたため、約1億円の増額となっている。

また、中山清掃センターが平成22年度末で閉鎖となり、新年度からごみの一部

焼却を米子市に委託する。

なお、ごみが多い盆と正月を除いて、普段は名和クリーンセンターの時間延長で焼却に対応することで、米子市に搬出しないようにし、経費の節減をはかる。

## 拠点保育所 を建設 教育委員会事務局

**平**

成23年度には、大山・中山地区それぞれの拠点保育所が建設される。

施設やサービスが充実した新しい保育所は、平成24年度から受け入れ開始予定。

また、健康づくりや仲間づくりを目的とした、総合型地域スポーツクラブ「スポーツしよい大山」を平成23年3月26日に設立。